## ALPS From the World 世界の街から



## モスクワより

## 日本航空 モスクワ支店 小町谷 祐子

ロシアの食べ物と言えば、ボルシチ、ピロシキ、ロ シア紅茶を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。 ボルシチはビーツ(赤カブ)がメインのスープ、お味噌 汁のように本来は家庭料理で、家庭各々のレシピがあ ります。ビーツが簡単に手に入らない日本では、家庭 で食するのは難しいかもしれません。日本でピロシキと 言えば、中に肉等が入っている揚げたパンですが、本 物のピロシキは焼いたもので(揚げたものもありますが)、 中身は卵、キャベツ、米、魚、肉、ジャム等いろいろ な種類があります。街中の屋台で売っていて、小腹が すいた時にちょっとつまむおやつといったところです。 ロシア紅茶と言えば、ジャムの入った紅茶と思ってい らっしゃいませんか? 実は、ジャムは紅茶に入れるの ではなく、小皿においてスプーンで食べながら紅茶を飲 むのがロシア紅茶です。

最近のモスクワではカプチーノ等コーヒーが人気で すが、紅茶に限らずモスクワの食生活は激変しており、 日本食が大ブームです。日本食レストランに限らず、 ロシア・イタリア・中華等ほとんどのレストランのメニ ューに「すし」があります。巻物が主流ですが「にぎ り」もあります。大型スーパーで購入することも可能 です。高級食品とも言える「すし」ですが、ロシアの 健康ブームに乗ったということでしょうか。日本航空は

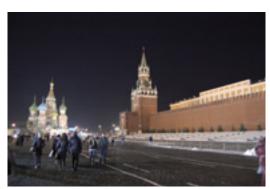
2007年12月に、モスクワでの空港をシェレメチェボから、 より近代的でサービスの良いドモジェドボに移転したの ですが、ここのVIPラウンジの「すし」はなかなかのも のです。ただし、お値段の方もなかなかですが。

さて、厳寒のモスクワでの冬の楽しみは何かと尋ねら れることがあります。まず第一は、観劇・音楽鑑賞で しょうか。日本ではあまり馴染みのないオペラ、クラシ ックコンサートがモスクワではとても身近なのです。子 供達が正装して音楽会に来ているのを目にすると、目 本とは文化環境が違うことを実感します。第二は、ス ケート・スキーでしょうか。公園に氷をはってスケート 場にしたり、「赤の広場」に架設のスケート場を作った り、誰もが気軽に楽しめるようになっています。森では スキーを楽しむ人々もいます。ちょっと寒さを我慢して、 銀世界の公園を散歩するのも楽しいですし、道行く毛 皮で着飾った人々を観賞するのも楽しいものです。寒 さ知らずで楽しめるのは、市内観光コースにも組み込 まれている地下鉄駅巡りです。冷戦時代に防空壕とし て作られたと言われていますが、地下宮殿とも言われ、 古い駅は様々な趣向がこらされており、美術館のよう です。

ちょっと遠く感じられるロシアかもしれませんが、楽 しみ満載のモスクワで皆様をお待ちしています。



日本食、なかでも「すし」がブーム



クレムリン、聖ワリシー大聖堂と赤の広場